

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	<p>（企業誘致及び地元企業の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルに「及び地元企業の育成」を追加</li> <li>・②の説明</li> <li>・④に地元企業の育成を追加</li> <li>・⑤の説明</li> </ul>
佐藤部会長	住宅リフォームは地元企業優先なのか。
小室主幹	<p>地元企業への発注しか認めていない。地元の建築会社でやって下さい、という内容。店舗リフォームも起業家支援の改修も新規で建物を建てる場合も地元企業でお願いしている。起業家支援では備品などの初期投資も基本美幌でとお願いしている。どうしても美幌では手に入らない特殊な物は町外での購入を認めている。原則、美幌町の業者を使うようにしている。</p>
佐藤部会長	<p>計画の内容に記載されている、「美幌・大空・津別地域産業活性化基本計画」とは3町でやっているのか。</p>
小室主幹	<p>はい。活性化協議会を持っていて産業集積の関係で動いている。この中で誘致活動などを行っていく。美幌、大空、津別は昔から一体化されているので、美幌町だけという事ではなく、3町、力を合わせて誘致を図り相乗効果を図っていくという事。</p>
城委員	<p>3町と言っても機能しない。大空町は網走を見ている。この手の協議会は名ばかり。</p>
林委員	<p>実際はどれくらい動いているのか。</p>
小室主幹	<p>それほど動いてはいない。</p>
城委員	<p>大空町は消防組合や下水処理の行政機能はほぼ網走。美幌と津別は一緒だが、何かするなら大空町は網走の色を伺わないといけないから現実的には進まないのでは。</p>
小室主幹	<p>これは産業集積の関係で固定資産税の優遇処置を受ける時に地域で計画を立てなさいという事から始まった。低工法の優遇処置がなくなったのでみんなでやりましょうとの話しになった。実体は機能していないが今後はこういった母体があるので、せっかくだから3町、力を合わせていこうという事で掲載した。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	計画から外しても良いのでは。表現を変えるなどした方が町は動きやすくなるのでは。
林委員	美幌、津別で動きたいなら放っておいても良いと思うが、兼ね合いでどうしても大空町を抱き込みたいならこの計画でいくしかない。要は、自分達がどう動きたいかで変更していけば良いと思う。
城委員	結局、計画に載せてしまうと今の様な質問をされてしまう。機能していないなら止めてしまっはとなる。美幌町が今後リーダーシップを取って刺激を与えて動かせるならいいが。
小室主幹	企業誘致の言葉はどうしても載せなくてはならない項目なのはご理解頂きたい。取り組みをどうするかの文言の整理をしたい。取り組み内容Cは現実的で「北海道東京事務所」は顔を出すたびに情報収集はしているから活かしたい。
林委員	「北海道東京事務所」は3町に関係ないならBの欄に記載しても良いのでは。
小室主幹	東京事務所を全面に出す事も含めて検討する。
城委員	基本計画はいきているのか。
小室主幹	いきている。昨年度、更新した。基本は特例措置の関係の部分で作らなければならなかった。
小西事務局長	来た会社は固定資産税が免除になって、それを受けたら国から交付税がもらえる。
小室主幹	東京事務所の件も含め、違う文言での整理をし、企業誘致の推進の言葉だけは記載していく。
林委員	取り組みCの所に優遇措置があると記載しても良いのでは。 どういう形でこの先、この計画を元に企業誘致を進めていくのか。優遇措置の為の受皿であって東京事務所がメインなのかによると思う。
白石委員	北海道東京事務所ってどういう所なのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	北海道の出先機関。色んな情報が入ってくる。色々な相談にも乗ってくれる。
城委員	各都道府県が東京に事務所を構えている。中央省庁との情報を整理して各都道府県に流している。道の東京支店のようなもの。
佐藤部会長	東京美幌会もあると聞いている。
小室主幹	昔、美幌に住んでいたとか美幌に縁のある方の集まり。年一回で総会があり同窓会の様に集まっている。
白石委員	東京美幌会の中には良い人材がたくさん集まっていると思うが、ふるさと思える体制を活用出来ないのか。
小室主幹	<p>人材バンクについて今日の議会で一般質問があり、10年程前に企業誘致推進協力員というのがあって、東京、大阪、札幌に美幌企業誘致推進協力員がいた事を町長が答弁している。内容にもよるが掲載を検討したい。</p> <p>観光物産大使には、東京美幌会、札幌美幌会、オリンピック選手の方になってもらっている。優れた人材やPRが出来る方を含めて人材バンクとして行っていると話していた。</p>
城委員	東京美幌会は高齢化が進んでいるのでは。
小室主幹	<p>会の名簿は見た事は無いが、総会の出席者は高齢者が多い。若い人は入りたいと望んでいる。札幌美幌会は知り合いに声を掛けたら何名か入ってくれて若返りが図られた。</p>
小室主幹	<p>(雇用促進、勤労者福祉)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②の説明 人材登録制度のニュアンスを明記</li> <li>・⑤の説明 資格取得が通年雇用にかなり有利になるので促進していく 職業訓練校を推進していく</li> </ul>
城委員	職業訓練校に触れていたが、会議を重ねて感じた事だが行政サイドのスタンスとしては今、やっている事は無くせないと言うのが根本にあるよう

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
(引き続き)	
城委員	だが、今回の総合計画は11年後で本当に職業訓練校を支援し続ける事を項目として載せていいのか疑問である。それなら季節労働者通年雇用促進支援に集中させるのも良いのではと思うのだが。
小室主幹	美幌では少なくなっており科目も減らしている。職業訓練校は北見にもあり負担金を納め支援している。美幌の方も通っている。大きな括りでの職業訓練校であって、あえて「美幌」を外して記載している。無くならない事を祈っているが、仮に美幌の職業訓練校のニーズが無く廃止になったら北見の方に支援して美幌の入校生を受け入れて下さいと、話をするしかない。そういう意味で11年後でも支援が続いていると思っている。
城委員	美幌のボーダーラインは。一人でも行うのか。
小室主幹	そうならないようには協会の方もあらゆる手法で募集をしている。5名になったら、3名になったらどうする、と議論する時が来ると思う。そうになったら北見になると。道からの補助金を受けているので道との協議が必要。いずれは決断しなければならないかもしれない。
城委員	教室に2人や3人だと張り合いも無くなってしまう。
白石委員	何年か前にパソコンの勉強会に参加させてもらった事がある。近くに学べる場があるなら行きたいと思う人もいると思う。PR不足もあるので。
小室主幹	パソコンは定員割れしている。PR不足でもある。協会と連携を取り広報などで日程を知らせるなど発信については、色々協力できる。
城委員	パソコンは小・中・高と触るようになっていので、10年後はパソコンの授業は無くなっているかもしれない。
小室主幹	50代以上にはニーズがある。今後は確かにニーズがないかもしれない。
城委員	広域的な職業訓練校支援という事で了解した。
佐藤部会長	職業訓練校の案内はホームページで見られるのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	美幌町では載せていないが、載せるべきかもしれない。科目の紹介や臨時の科目などの発信は必要だ。
佐藤部会長	関係ないかもしれないが自動車学校で大型免許が取れるのは美幌、北見、女満別でしか取れない。美幌で合宿免許の様な事は出来ないのか。
小室主幹	芽室町の教習所が行っていたはず。
佐藤部会長	酪農の若い人達は大型の免許がないので大変らしい。泊まりがけで3日くらいで取れないものか。
小室主幹	高校生も普通免許を持ってなかったら仕事にならない。
城委員	自動車学校からパンフレットを作ったので行政から他町村に配ってほしいとしてくれると動きやすい。
小室主幹	冬場は混んでいる。通年雇用の資格取得のため季節労働者は冬にしか行けないのだが、2～3月に行きたいとなっても申込みがいっぱいで通えない。高校生がその時期に免許を取るからだと思う。
城委員	高校生には条件付きで夏に取らせてあげればいい。卒業まで免許を発行しないなどすればいい。自動車学校の生徒が分散されて人が入ると思う。
林委員	就職する生徒には、就職を見計らって受けるなどがいい。
城委員	今の学校の条件は就職する子にはありがた迷惑。就職してからも自動車学校に通っている人もいる。それはないだろう。
小室主幹	自動車学校に是非アイデアを出してほしい。
城委員	進学の子も3月に取れないから、余所で取ってしまう。結局、美幌にお金が落ちない。
小室主幹	<p>(消費生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証シートに基づき②、⑤について説明</li> </ul>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐藤部会長	まち育出前講座を聞いたが、大変いい話でとてもためになった。実際年間どれくらい行っているのか。
白石委員	テレビ等で色んな話題が出る度に関心が高まり出番が増えている。以前は自治会で何件かだったが去年は高校や中学校へ行った。学校の先生方も消費者教育を小中学生のうちからきちんとやろうと意識になってきていて声を掛けてもらった。私も勉強させてもらうつもりで行った。
小室主幹	高校でのテーマはインターネットでの詐欺などか。
白石委員	スマートフォンに関しては子供達の方がずっと知識があるが、こちらの提供するDVDなどを見てもらい現実として起こる事をわかってもらいながら子供達に感じてほしい。
佐藤部会長	DVDは誰が用意するのか。
白石委員	北海道消費者協会から要望にあった物を借りている。
小室主幹	年金機構の個人情報の流失があったが、その相談は無かったのか。
白石委員	今の所ない。情報流出などの事件が起きると便乗して悪質な詐欺が増える。詐欺は電話での事が多く年配の方は電話口で脅されたような不安な気持ちになる。津別での出前講座の時に詐欺の被害を聞いてみたら、息子を名乗り、携帯電話で「自分がオレオレ詐欺の被害に遭い、500万円の被害が出たが弁護士に間に入ってもらい200万円で済む事になった。何とか都合を付けて欲しい。」と被害者を装って電話が来た。動揺した母親が知人に相談し息子に電話を掛けてもらい、事なきを得た。一人で悩んでいたら、被害に遭っていたかもしれない。
小室主幹	消費者協会の力がないと行政だけではどうにも無理な話。消費者協会の事業を推進していきたい。
佐藤部会長	津別や大空に消費者協会はないのか。
白石委員	ない。オホーツクには7つある。津別には情報を下さい、と言っている。
林委員	消費生活は家庭科のカテゴリーで、小学校ではごく簡単な話で教えている。ネットゲームの課金など、無駄遣いはやめましょう。という話。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐藤部会長	<p>ネットゲームは心をくすぐる手法で課金をさせられてしまう。</p>
	<p>（新エネルギー）</p>
小室主幹	<p>・②の説明 低炭素地域づくりー北海道からモデル地域に指定されている</p>
	<p>・⑤の説明</p>
林委員	<p>目標値のようなものはあるのか。</p>
小室主幹	<p>年度ごとに検証し、最終的に二酸化炭素を何 t 減らすという目標数値がある。年度ごとにクリアしてきている。大きな要因として、峠の湯にチップボイラー、B &amp; G にペレットボイラーを使い相当数の火石燃料を削減出来た。また、ハイブリット車の想像以上の普及などが二酸化炭素排出の削減に繋がっている。</p>
城委員	<p>町の全体としての排出量の数値は抑えているのか。低炭素地域づくりとは町全体の二酸化炭素を何%抑えるとかの話ではないのか。</p>
小室主幹	<p>地球温暖化防止とは別の動き。低炭素地域づくりとは、二酸化炭素の排出量の削減は当然とし、それを資源として地域の活性化に結びましょう、という事内容。なかなか進んでいないが林地残材を活用しペレットの生産、雇用など地域の域内循環に繋げるというのが低炭素地域づくりという北海道が掲げている目標。二酸化炭素の削減だけではない。</p>